

2025 年度 事業報告書

学校法人 明 倫 学 園

学校法人明倫学園 2025 年度事業報告書

I. 法人の概要

1. 基本情報

名 称 学校法人 明倫学園
設 立 平成 8 年 12 月 19 日
理事長 渡邊 高志
所在地 新潟県新潟市西区真砂 3 丁目 16 番 10 号
TEL 025(232)6351/Fax 025(232)6335 <https://www.meirin-c.ac.jp/>

2. 建学の精神

本学園は、永年にわたり集積してきた教育経験とノウハウを発展的に用い、「人格の陶冶」、「知識と技術の修得」、「社会への医療技能の還元」という三つの創立綱領（建学の精神）のもと、「明倫短期大学」を設立・運営し、国際貢献も視野におきつつ、社会的な要請に応え得る歯科技工士及び歯科衛生士を養成し、もって歯科医学・医療の発展、福祉社会の充実、ひいては国民生活の向上に寄与することを目的としています。

3. 沿革

1959 (S34) 年 7 月 7 日	歯友歯科技工士養成所・歯友歯科衛生士養成所において歯科医療技術者の養成を始める。
1995 (H7) 年 1 月	明倫短期大学設立準備委員会設置
1996 (H8) 年 12 月 19 日	学校法人明倫学園設立認可 明倫短期大学設立認可 歯科技工士学科（修業年限 2 年・入学定員 80 名・収容定員 160 名） 歯科衛生士学科（修業年限 2 年・入学定員 120 名・収容定員 240 名） 歯科技工士養成指定学校認可・歯科衛生士養成指定学校認可
1997 (H9) 年 4 月 1 日	明倫短期大学開学
1998 (H10) 年 12 月 22 日	明倫短期大学専攻科設置申請受理・言語聴覚士養成指定学校認可
1999 (H11) 年 4 月 1 日	明短期大学専攻科開設 歯科技工士学科専攻科生体技工専攻 （修業年限 2 年・入学定員 20 名・収容定員 40 名） 歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻 （修業年限 2 年・入学定員 10 名・収容定員 20 名） 歯科衛生士学科専攻科保健言語聴覚学専攻 （修業年限 2 年・入学定員 10 名・収容定員 20 名）
2006 (H18) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科衛生士学科修業年限・収容定員変更 歯科衛生士学科（修業年限 3 年・入学定員 100 名・収容定員 300 名） 明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻募集停止
2008 (H20) 年 3 月 19 日	財団法人短期大学基準協会より適格認定の評価結果を受ける。
2008 (H20) 年 3 月 31 日	明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻廃止
2009 (H21) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻開設 （修業年限 1 年・入学定員 10 名。収容定員 10 名） 同専攻科が大学評価・学位授与機構より認定専攻科の認定を受ける。（学士（口腔保健学））
2010 (H22) 年 4 月 1 日	財団法人歯友会の事業を承継し、文部科学大臣より収益事業開始の認可を得て、老人福祉・介護事業（歯友会居宅介護支援センター）開始

2011 (H23) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科技工士学科収容定員変更 歯科技工士学科 (入学定員 70 名・収容定員 140 名)
2013 (H25) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科技工士学科・歯科衛生士学科収容定員変更 歯科技工士学科 (入学定員 50 名・収容定員 100 名) 歯科衛生士学科 (入学定員 80 名・収容定員 240 名) 明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科保健言語聴覚学専攻募集停止
2014 (H26) 年 3 月 31 日	耐震工事第 1 期完了 (3 号館)
2015 (H27) 年 3 月 12 日	財団法人短期大学基準協会より適格認定の評価結果を受ける。
2017 (H27) 年 3 月 31 日	耐震工事第 2 期完了 (1・5 号館) 明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科保健言語聴覚学専攻廃科
2015 (H27) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科技工士専攻科生体技工専攻入学定員変更 (入学定員 10 名・収容定員 20 名)
2017 (H29) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科技工士学科専攻科生体技工専攻が大学改革支援・学位授与機構より認定専攻科の認定を受ける。(学士 (口腔保健学))
2020 (R2) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科技工士学科・歯科衛生士学科収容定員変更 歯科技工士学科 (入学定員 30 名・収容定員 60 名) 歯科衛生士学科 (入学定員 60 名・収容定員 180 名)
2021 (R3) 年 4 月 1 日	国際技術交流会館において学外学生の受入開始 (収益事業)
2022 (R4) 年 3 月 11 日	一般財団法人大学・短期大学基準協会の適格認定の評価結果を受ける。
2023 (R5) 年 2 月 17 日	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学改革支援歯科技工士学科専攻科生体技工専攻及び歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻の教育の実施状況等の審査が実施され「適」と認められる。
2026 (R8) 年 4 月 1 日	明倫短期大学歯科技工士学科・歯科衛生士学科収容定員変更 歯科技工士学科 (入学定員 22 名・収容定員 44 名) 歯科衛生士学科 (入学定員 55 名・収容定員 165 名)

4. 設置学校・学科の状況

学校名	明倫短期大学
学 長	宮崎 秀夫
所在地	新潟県新潟市西区真砂 3 丁目 16 番 10 号 TEL 025(232)6351/Fax 025(232)6335 https://www.meirin-c.ac.jp/
学科等	歯科技工士学科 歯科衛生士学科 専攻科 歯科技工士学科専攻科生体技工専攻 歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻

5. 学生数の状況

2025 年 5 月 1 日現在

		就業年限 (年)	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学生数 (人)	現員数 (人)
学 科	歯科技工士学科	2	30	60	17	30
	歯科衛生士学科	3	60	180	40	145
	小 計	—	90	240	57	175
専 攻 科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻	2	10	20	7	10
	歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻	1	10	10	6	6
	小 計	—	20	30	13	16

表 1 2025 年度入学・在籍状況

2026 年 5 月 1 日現在

		就業年限 (年)	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学生数 (人)	現員数 (人)
学 科	歯科技工士学科	2	22	52	20	38
	歯科衛生士学科	3	55	175	38	130
	小 計	—	77	227	58	168
専 攻 科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻	2	10	20	2	9
	歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻	1	10	10	8	8
	小 計	—	20	30	10	17

表 2 [参考] 2026 年度入学・在籍状況

2026 年 5 月 1 日現在

		卒業・修了者数 (人)	求職者数 (人)	求人数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
学 科	歯科技工士学科	12	8	258	8	100
	歯科衛生士学科	44	31	1,013	31	100
	小 計	56	39	1,271	39	100
専 攻 科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻	2	2	258	2	100
	歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻	6	6	1,013	6	100
	小 計	8	8	1,271	8	100

表 3 2025 年度卒業・就職状況

6. 収容定員充足率

学校名	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
明倫短期大学	67.5%	70.4%	82.9%	77.1%	72.9%

表 4 収容定員充足率の経年比較

7. 役員・評議員の概要（2025 年 5 月 1 日現在）

理事 定数 5 名 現員 5 名 ／ 監事 定数 2 名 現員 2 名

	氏名	就任年月日 (再 任)	常 勤・ 非常勤の別	主な現職
第 1 号理事 (学長)	宮崎 秀夫	2019 年 4 月 1 日 (2025 年 4 月 1 日)	常 勤	明倫短期大学長
第 2 号理事 (評議員)	木暮 ミカ	2017 年 6 月 1 日 (2023 年 6 月 1 日)	常 勤	明倫短期大学教授
	渡邊 高志	2021 年 12 月 23 日 (2023 年 6 月 1 日)	常 勤	明倫学園事務局長
第 3 号理事 (学識経験者)	花田 晃治	2020 年 4 月 1 日 (2023 年 6 月 1 日)	非常勤 (外部理事)	
	松橋 耕吉	2023 年 4 月 7 日 (2023 年 6 月 1 日)	非常勤 (外部理事)	
監 事	山本 敏彦	2019 年 4 月 1 日 (2023 年 6 月 1 日)	非常勤	税理士
	大西 尚之	2023 年 4 月 7 日 (2023 年 6 月 1 日)	非常勤	新潟県 歯科技工士会会長

表 5 現任役員一覧

評議員 定数 11 名 現員 11 名

	氏名	就任年月日	主な現職
第 1 号 (役職者)	宮崎 秀夫	2019 年 4 月 1 日	明倫短期大学長
	渡邊 高志	2019 年 4 月 1 日	明倫学園事務局長
第 2 号 (教職員)	木暮ミカ	1996 年 12 月 19 日	明倫短期大学教授
	田中 みか子	2023 年 6 月 1 日	明倫短期大学教授
	飛田 滋	2023 年 6 月 1 日	明倫短期大学教授
	田村 徳幸	2023 年 6 月 1 日	明倫短期大学事務局長
第 3 号 (校友会員)	本間 和代	1999 年 6 月 1 日	介護支援専門員
	江川 広子	2020 年 4 月 1 日	明倫短期大学特任教授
	渡邊 美幸	2022 年 12 月 23 日	明倫短期大学講師
第 4 号 (学識経験者)	花田 晃治	2020 年 4 月 1 日	
	松橋 耕吉	2023 年 4 月 17 日	

表 6 現任評議員一覧

8. 職員数（2025 年 5 月 1 日現在）

	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
歯科技工士学科	2	1	2	0	1	6
歯科衛生士学科	4	1	1	3	0	9
計	6	2	3	3	1	15

表 7 教員数（専任教員）

	常勤	非常勤	計
教育系職員	－	3	3
医療系職員	8	16	24
一般事務系職員	7	7	14
計	15	26	41

表 8-1 職員数

	常勤	非常勤	計
歯友会居宅介護支援センター	2	2※	4

※非常勤職員のうち 1 名は教員と兼任

表 8-2 職員数（収益部門）

II. 事業の概要

本学園は、私立学校法で定める中期的な計画として、2020 年 8 月に 5 か年の経営改善計画を策定し、その計画を遂行してきました。第二期の計画として、2025 年 9 月に新たな 5 か年の経営改善計画を策定した後、単年度ごとの事業計画において具体的な施策や数値目標を設定し、計画の目標達成に向けて取り組んでいます。

2025 年度事業計画では、第一期経営改善計画における課題と今後の対策を踏まえ、基幹部分を単純化して受け継ぎつつ、「価値」と「貢献」をテーマとして経営改善に努めました。

以下に、2025 年度事業計画の進捗状況の概要を示します。

1. 主な教育・研究の概要

① 卒業の認定に関する方針に基づく取り組み

卒業認定・学位授与の方針に基づき、専門的な知識および技術・技能の修得に加え、主体性や実践力を備えた人材育成を推進しました。2025 年度は、付加価値のある教育プログラムの提供を目的として、副専攻プログラム及び専攻科教育の充実を図りました。特に、歯科技工士学科専攻科生体技工専攻においては、校友会や外部協力団体との連携により、臨床現場を意識した実践的かつ多様な技術・知識を学ぶ教育機会を提供しました。また、ピア・サポートプログラムを活用し、ピア・サポーターによる学生生活のアドバイスや実習支援などの活動を通して、学生の自立・自律性を高める教育環境整備に取り組みました。

② 教育課程の編成及び実施に関する方針に基づく取り組み

教育課程編成及び実施の方針に基づき、多様な学生に対応できる教育体制の整備を進めました。歯科衛生士学科「社会人プログラム」においては、教育内容及び支援体制の改善・充実を図るとともに、国家試験対策に向けたテーラーメイドプログラム（自学時間割）を作成し、学力向上に向けた個別支援を行いました。また、高大連携の一環として、歯科に特化したカリキュラムを提携校と共に作成し、当該高等学校における歯科の専門コースの設置準備を進めました。

③ 入学者の受入れに関する方針に基づく取り組み

入学者受入れの方針に基づき、多様な学習ニーズに対応した教育機会の提供を進めました。意欲ある学生向けに設定した副専攻プログラムの充実や、校友会・外部協力団体等との連携による実践的な実習指導、多様化する学生の基礎学力向上のためのデジタルコンテンツの活用などを推進し、社会人を含む幅広い学習者の受入れ体制強化に取り組みました。

2. 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

① 教学関係

入学定員の適正化を図るため、段階的に入学定員の削減を進めており、本年度、歯科技工士学科の入学定員を30名から22名に、歯科衛生士学科の入学定員を60名から55名に変更しました。

地域社会を学びのフィールドとする「地域キャンパス」の構築を推進し、地域の歯科技工所、歯科診療所と連携したフィールドワークを実施しました。また、歯科技工士学科においては、専攻科を活用した4年間一貫教育について検討を進め、カリキュラムツリーの見直しや、教育課程への更なるデジタル技工教育の導入を進めました。歯科衛生士学科においては、社会人プログラム学生に対し、アンケートや個別ヒアリングを通じた教育支援体制の改善を進め、柔軟な履修支援やテラーメイド型時間割作成支援を行いました。また、多様な学生への対応力向上や教育力強化を目的としたFD・SDを実施し、教職員の教育・学生支援に対する意識の向上を図りました。学生同士の修学支援については、ピア・サポートプログラムを活用し、上級生による学修・実習支援を行うことで、学生同士が支え合いながら成長できる教育環境の充実に努めました。

② 人事関係

教育体制の充実を図るため、教育内容に応じた非常勤講師の配置を進めるなど、適切な人員体制の整備に努めました。また、附属施設及び収益部門においては、事業規模や収支状況を踏まえた人員配置を行い、事業収入の確保と運営体制の強化を図りました。さらに、若手教職員の定着やモチベーション向上を目的として、処遇改善の検討を行うとともに、既設のベストティーチャー賞に加え、学園運営に貢献した職員を表彰するベストスタッフ賞を設け、教職員の意欲向上に努めました。

③ 施設関係

施設設備の整備については、教育環境及び学生生活環境の向上を目的として、優先順位を付した計画的な修繕・更新を行いました。2025年度においては、講義録画システムの追加整備や学生寮の空調設備更新を行い、学修環境及び生活環境の充実を図りました。また、施設設備の老朽化状況や利用状況を踏まえ、財務面とのバランスを考慮しながら、必要性の高い設備更新工事を計画的に実施する体制整備に努めました。

④ 財務関係

財務基盤強化のため、附属施設や収益事業の運営方法の見直しや改善を行い、収益力の向上・安定化を図りました。また、若手研究者の研究活動支援を推進するとともに、地方自治体が行う各種補助事業への申請・採択により、外部資金の獲得に努めました。人件費については、継続的に人件費を抑制しつつも、業務を効率化し、教育の質や学生支援体制の充実に取り組みました。また、校舎のコンパクト化を進めるとともに、冷暖房利用時間の調整等、従来からの光熱費節減対策を継続し、経費削減に取り組みました。

Ⅲ. 財務の概要

1. 決算の概要

(1) 貸借対照表関係

① 貸借対照表の状況と経年比較

固定資産については、予算に基づき施設、設備を整備し、建物支出 8,800 千円、教育研究用備品 3,300 千円等を支出しています。また、経年により陳腐化した資料を整理し、2,850 千円分の図書を廃棄しています。

流動資産について、借入金のうち 17,400 千円の返済を遅滞なく行い、前年度比で 19,900 千円減少しています。これにより、現預金を含む流動資産が減少しているものの、借入金返済を着実にっており負債比率は減少してします。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	3,107,490	2,774,003	2,701,757	2,636,504	2,560,258
流動資産	274,205	409,525	410,481	367,503	347,603
資産の部合計	3,381,696	3,183,528	3,112,228	3,004,006	2,907,861
固定負債	349,138	294,732	277,425	258,772	239,298
流動負債	197,442	232,785	219,125	200,504	182,390
負債の部合計	546,580	527,516	496,550	459,276	421,689
基本金	4,800,679	4,622,322	4,617,977	4,660,198	4,686,537
繰越収支差額	△ 1,965,563	△ 1,966,310	△ 2,002,299	△ 2,115,468	△ 2,200,365
純資産の部合計	2,835,116	2,656,012	2,615,678	2,544,730	2,486,172
負債及び純資産の部合計	3,381,696	3,183,528	3,112,228	3,004,006	2,907,862

表 9 貸借対照表の経年比較（単位：千円）

		算式(×100)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	83.8	83.4	84.0	84.7	85.5
2	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	138.9	175.9	187.3	183.3	190.6
3	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	19.3	19.9	19.0	18.0	17.0
4	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	95.2	96.0	96.8	97.4	97.8

表 10 財務比率の経年比較（単位：％）

(2) 事業活動収支計算書関係

① 事業活動収支計算書の状況と経年比較

学生生徒等納付金が前年度と同程度でしたが、医療収入を含む付随事業収入が好調だったことから、経常収支差額は△52,900 千円、前年度比で 18,800 千円改善しました。経年比較でみると、収容定員充足率が 8 割を超えていた 2023（R5）年度と比較して学生生徒納付金は減少していますが、附属歯科診療所の医療収入の伸長が収支改善に寄与しています。今後も学生確保と収入基盤の強化に取り組み収支改善に努めます。

科目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	169,400	170,280	185,707	164,255	164,179
	手数料	2,179	2,910	2,386	2,502	2,731
	寄付金	3,150	10,102	6,070	3,810	6,289
	経常費補助金	59,761	58,759	59,009	50,153	52,435
	付随事業収入	138,599	147,116	144,374	134,263	148,078
	雑収入	39,054	16,433	26,579	38,062	17,316
	教育活動収入計	412,143	405,599	424,125	393,045	391,027
	事業活動支出の部					
	人件費	239,061	195,191	214,248	217,685	210,085
	教育研究経費	166,012	167,406	165,790	165,522	155,174
	管理経費	75,880	81,057	74,473	80,256	77,336
	徴収不能額等	0	0	0	0	293
	教育活動支出計	480,953	443,654	454,511	463,462	442,887
	教育活動収支差額	△ 68,809	△ 38,055	△ 30,386	△ 70,417	△ 51,860
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	3	3	4	81	468
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	3	3	4	81	468
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	3,495	2,636	1,790	1,397	1,521
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	3,495	2,636	1,790	1,397	1,521
	教育活動外収支差額	△ 3,492	△ 2,633	△ 1,786	△ 1,316	△ 1,053
経常収支差額		△ 72,301	△ 40,688	△ 32,172	△ 71,732	△ 52,913
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	4,191	0	0	0
	その他の特別収入	628	539	444	1,113	280
	特別収入計	628	4,730	444	1,113	280
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	10,139	143,146	8,605	328	2,851
	その他の特別支出	0	0	0	0	3,074
	特別支出計	10,139	143,146	8,605	328	5,925
	特別収支差額	△ 9,510	△ 138,416	△ 8,161	785	△ 5,646
基本金組入前当年度収支差額		△ 81,812	△ 179,104	△ 40,334	△ 70,947	△ 58,559
基本金組入額合計		△ 23,385	0	0	△ 42,222	△ 26,338
当年度収支差額		△ 105,197	△ 179,104	△ 40,334	△ 113,169	△ 84,897
前年度繰越収支差額		△ 1,868,367	△ 1,965,563	△ 1,966,310	△ 2,002,299	△ 2,115,468
基本金取崩額		8,000	178,358	4,345	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 1,965,563	△ 1,966,310	△ 2,002,299	△ 2,115,468	△ 2,200,365
(参考)						
事業活動収入計		412,775	410,332	424,573	394,240	391,775
事業活動支出計		494,587	589,436	464,907	465,187	450,333

表 11 事業活動収支計算書の経年比較（単位：千円）

		算式(×100)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	58.0	48.1	50.5	55.4	53.7
2	教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	40.3	41.3	39.1	42.1	39.6
3	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	18.4	20.0	17.6	20.4	19.8
4	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 19.8	△ 43.6	△ 9.5	△ 18.0	△ 14.9
5	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組入額}}$	127.0	143.6	109.5	132.1	123.2
6	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	41.1	42.0	43.8	41.8	41.9

表 12 財務比率の経年比較（単位：％）

(3) 資金収支計算書関係

① 資金収支計算書の状況と経年比較

学生生徒等納付金収入は前年度並みの水準にとどまりましたが、医療収入が好調に推移したことに加え、光熱水費を中心とした経費の見直しと効率化を進めた結果、当年度の活動に係る収支は改善が見られたものの、前受金の減少や前年度からの支払い等の影響もあり、資金収支は引き続き支出超過となっています。

短大部門の収支については診療所部門が支える構造が常態化していることから、学生確保による財政の安定化が求められています。物価上昇の影響により人件費や経費の抑制には限界があるものの、引き続き、収支改善と資金確保に努めます。

収入の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	169,400	170,280	185,707	164,255	164,179
手数料収入	2,179	2,910	2,386	2,502	2,731
寄付金収入	3,150	10,102	6,070	3,810	6,289
補助金収入	59,761	58,759	59,009	50,153	52,435
資産売却収入	0	103,338	300	0	0
付随事業・収益事業収入	138,599	147,116	144,374	134,263	148,078
受取利息・配当金収入	3	3	4	81	468
雑収入	39,054	16,433	26,579	38,062	17,316
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	103,065	159,330	149,429	152,605	137,068
その他の収入	146,139	157,880	107,073	117,145	104,072
資金収入調整勘定	△ 159,318	△ 133,981	△ 196,115	△ 181,638	△ 184,446
前年度繰越支払資金	252,300	215,432	375,307	371,847	329,017
収入の部合計	754,333	907,600	860,123	853,085	777,205

表 13-1 資金収支計算書（収入の部）の経年比較（単位：千円）

支出の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人件費支出	236,182	199,112	214,131	218,914	211,781
教育研究経費支出	95,692	97,486	95,417	95,528	88,571
管理経費支出	50,510	55,342	48,568	54,125	51,298
借入金等利息支出	3,495	2,636	1,790	1,397	1,521
借入金等返済支出	49,804	49,804	49,804	17,424	17,424
施設関係支出	23,513	12,824	992	15,779	8,839
設備関係支出	1,213	1,614	26,461	3,749	4,945
資産運用支出	7,000	6,000	5,000	11,000	5,000
その他の支出	109,720	121,130	87,414	127,597	99,533
資金支出繰越勘定	△ 38,229	△ 13,654	△ 41,301	△ 21,445	△ 22,453
翌年度繰越支払資金	215,432	375,307	371,847	329,017	310,745
支出の部合計	754,333	907,600	860,123	853,085	777,205

表 13-2 資金収支計算書（支出の部）の経年比較（単位：千円）

② 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

大学の本業である教育活動を示す教育活動資金収支差額は 21,600 千円の黒字となり、この黒字を活用して施設設備の整備を進めることが望ましいとされる中、本年度は理想的な収支構造を実現できました。

教育活動に係る資金収支は引き続き収入超過が続き、経営基盤の安定化が着実に進んでいます。施設・設備の老朽化に伴い更新および修繕費用は増加傾向にあります。これらは、教育環境の質向上に資する重要な投資として位置付けられています。

科目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	412,143	405,599	424,125	393,045	391,027
	教育活動資金支出計	382,384	351,939	358,116	368,567	351,651
	差引	29,759	53,660	66,009	24,478	39,376
	調整勘定等	△ 2,002	56,552	3,716	△ 4,500	△ 17,769
	教育活動資金収支差額	27,757	110,211	69,725	19,978	21,608
施設設備等活動による資金収支						
	施設設備等活動資金収入計	20,000	118,338	300	0	0
	施設設備等活動資金支出計	29,726	19,438	32,452	29,528	18,784
	差引	△ 9,726	98,899	△ 32,152	△ 29,528	△ 18,784
	調整勘定等	0	0	10,735	△ 10,717	689
	施設設備等活動資金収支差額	△ 9,726	99,899	△ 21,418	△ 40,246	△ 18,095
小計(教育活動資金収支差額＋施設設備等活動資金収支差額)		18,031	209,111	48,307	△ 20,268	3,513

その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	92,796	88,365	76,161	80,441	72,623
	その他の活動資金支出計	146,702	136,262	127,658	102,830	94,094
	差引	△ 53,906	△ 47,897	△ 51,498	△ 22,389	△ 21,471
	調整勘定等	△ 992	△ 1,339	△ 269	△ 175	△ 314
	その他の活動資金収支差額	△ 54,899	△ 49,235	△ 51,767	△ 22,563	△ 21,784
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 36,868	159,876	△ 3,460	△ 42,831	△ 18,272
前年度繰越支払資金		252,300	215,432	375,307	371,847	329,017
翌年度繰越支払資金		215,432	375,307	371,847	329,017	310,745

表 14 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較（単位：千円）

		算式(×100)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	6.7	27.2	16.4	5.1	5.5

表 15 財務比率の経年比較（単位：%）

2. その他

(1) 寄付金の状況

区分	件数	金額（千円）
一般	8 件	1,289
法人	3 件	5,000
計	11 件	6,289

表 16 寄付実績

(2) 補助金の状況

No	補助金交付先	件数	補助金額（千円）
1	私学事業団	2 件	51,390
2	日本学生支援機構	1 件	94
3	新潟県	2 件	438
4	新潟市	2 件	512
	計	7 件	52,434

表 17 補助金実績

(3) 収益事業の状況

収益事業の種類	事業内容
国際技術交流会館（学生寮）	宿泊業
歯友会居宅介護支援センター	老人福祉、介護支援事業

表 18 収益事業の種類

本学では、国際技術交流会館において他大学の学生を受け入れる宿泊事業と、歯友会居宅介護支援センターによる居宅介護支援事業を運営しています（表 10）。令和 7 年度は、他大学からの入寮者が 1 名にとどまり、寮生数の減少により国際技術交流会館は赤字となりましたが、居宅介護支援事業は安定して黒字を確保しました。その結果、収益事業全体としては黒字を維持しています。

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
流動資産	5,189	4,360	4,057
流動負債	2,414	1,656	1,750
純資産			
元入金	10,856	11,412	10,654
利益剰余金	△8,082	△8,709	△8,348
純資産合計	2,774	2,703	2,306

表 19 収益事業貸借対照表（単位：千円）

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
売上高	18,972	15,143	13,962
販売費および一般管理費	19,088	15,791	13,644
営業損益	△116	△648	318
営業外損益	385	21	43
当期純利益（損失）	269	△627	361

表 20 収益事業損益計算書（単位：千円）

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針方策

新たな経営改善計画初年度となる本年度においては、入学生数を計画どおり確保することができなかったものの、付随事業としての附属歯科診療所の運営が好調であったこと、関連企業や校友会の協力により多額の寄付金を獲得することができたこと、光熱水費の見直しや施設設備貸与等による予算外収入があったことなどから、前年度に対して収支の改善を図ることができました。

しかしながら、依然として予断を許さない経営状況が続いており、通信制高校を対象とした広域からの入学募集や社会人を対象とした「社会人プログラム」の充実を図り、安定した学生確保の実現に向けて全学で努めるとともに、予期しない経営状況の悪化に備えたリスクシナリオの策定を早急に進めます。

IV. 学校法人の業務の適正を確保するための体制の整備及び運用状況の概要

1. 関係する決議の概要

本学園では、改正私立学校法の施行に基づき、理事の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして文部科学省令で定める体制の整備に関する基本方針（内部統制システム）を策定しています。

2. 体制整備及び運用状況の概要

（1）理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

本学園は、理事会及び評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、寄附行為及び「文書取扱規程」等関係規程に基づき、適切に作成・保存・管理しています。

(2) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

事業活動に伴うリスクについては、法令及び本学園の関係規程等に基づき、各職務執行部署が自律的に管理することを基本としています。特に、経営に重大な影響を及ぼすおそれのある重要リスクについては、理事会において審議し、必要な対策を決定することとしています。

災害や事故等の緊急時に備えた体制及び情報連絡体制を整備し、継続的な教育及び定期的な訓練を実施いたします。研究活動についても、研究費の適正な経理、研究不正の防止及び知的財産の保護を図るため、必要な規程を整備し、適切な措置を講じています。また、附属歯科診療所においては、リスクマネージャーを設置し、医療事故の防止に努めています。

(3) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

本学園では、教学に関する業務は学長が、それ以外の業務は理事長がそれぞれ決裁権限を担う体制としています。このように職務分掌及び決裁権限を明確にすることで、指揮命令系統を整理し、理事及び職員等の職務執行の適正性を確保するとともに、機動的で効率的な業務執行の推進に努めています。

(4) 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制

本学園は、理事及び職員が法令、寄附行為及び各種規程を遵守し、高い倫理観のもとで業務を遂行するため、各種会議において、不正防止等に関する継続的な話し合いを実施している他、「コンプライアンス規程」の制定準備を進めています。

また、「公益通報に関する規程」を定め、内外から匿名で相談・通報できる窓口を設置し、不正の未然防止と迅速な調査・是正を行う体制を整備するとともに、通報者に対する不利益な取扱いを禁止しています。

「内部監査規程」に基づき設置された内部監査部門は、コンプライアンスの観点から職務執行状況を監査し、その結果を理事会に報告し、理事会はこれを踏まえて必要な改善を行います。加えて、法令や寄附行為に違反する行為が判明した場合には、規程に基づき、理事会が速やかに状況を把握し、外部専門家と連携のうえ適切に対応することとしています。

(5) 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

監事は、理事会や評議員会等の重要会議への出席、ならびに重要書類の閲覧・審査・質問等を通じて、理事等の職務執行に関する適法性および妥当性を監査する他、重要書類及び情報の整備・保存・管理・開示の状況を確認し、情報管理体制および情報開示体制の監査を行なっています。

理事または教職員は、本学園に重大な損害を及ぼすおそれのある事実や、法令・寄附行為・諸規程に違反する行為を認めた場合には、速やかに理事長の他、監事に報告するものとし、監事から職務執行状況等について報告を求められた際には、理事および教職員は速やかにこれに応じる体制としています。また、理事長は定期的に監事との会合を設け、事業の適正な遂行および健全な発展に向けた意見交換を行い、相互理解の深化を図っています。

以上

2026 年 6 月
学校法人 明倫学園

事業報告書附属明細書

2025 年度の事業報告に関し、私立学校法施行規則第 29 条第 3 項に規定する「事業報告書の内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。

以上